



仲間の声が国を動かす

2021年度決算 第106回組合会

土建国保の制度を確信に
理事長 武山辰雄

本日の組合会は、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底するため、席を広く取れるコロンホールでの開催となりました。

国保保険料の引き上げが、5月納入6月分の保険料より始まり、全県一丸となった学習運動を進めてきましたが、仲間の中には「国保料を引き上げたらやめる」という方も少なからずおられました。一方、ケガや病気で長期入院した仲間からは「土建国保の制度に助けられた」「土建国保に入っていて本当に良かった」という声も多く伺っています。仲間への確信になっている土建国保の制度を、より多くの仲間知らせるよう努め、母体組合と共に、脱退者を出さない活動を進めていきます。

引き続き、みなさんのご理解ご協力をお願いいたします。

ポイント
●当初予算よりも赤字幅が減少
●増え続ける高齢者拠出金

各種表彰

第106回国保組合会において下記の表彰が行なわれました。

1 特定健診受診率目標達成 表彰基準 当該年度の事業計画で掲げた特定健診受診率目標を達成した支部(受診率目標70%以上達成)

支部	特定健診受診率	支部	特定健診受診率
八潮	72.6%	狭山	72.1%

2 国保加入促進キャンペーン 表彰基準 2021年度に年間実増した支部

支部	2021年度年間実増	支部	2021年度年間実増
さいたま北越加春日宮	55人 33人 12人 3人 1人	行田羽生八三飯能日高	39人 13人 9人 2人

3 組合会議員 表彰基準

- ①組合会議員で2期在任し、出席率が90%以上のもの
- ②組合会議員で3期在任し、出席率が80%以上のもの
- ③組合会議員で4期以上在任し、出席率が70%以上のもの

須田 眞悟(さいたま北越)	高橋 孝雄(朝志和)
増田 整(ふじみ野)	黒澤 若男(上尾伊奈)
美口 秀人(上尾伊奈)	

4 事務局員 表彰基準 勤続10年以上のもの

岩井 ふみ代(保健師)

5 職員 表彰基準 勤続20年以上のもの

藤野 好美(新座) 遠田 伊都子(川越) 鳥野 千草(春日部) 坪井 麻奈美(加須)

2022年度 就労実態確認へのご協力をお願いします

国保組合は、監督官庁の指導により、定期的に組合員の加入資格の確認を行うことが義務付けられています。

今年度は、「健康保険の適用除外承認を受けて加入されている組合員」を対象に「就労実態確認」を実施します。

対象となる方には、9月以降に調査書類を所属支部よりお渡します(事前に事業所へ提出をお願いする場合があります)。

提出書類

2022年(令和4年)の①②③のいずれか1つ

- ①「健康保険・厚生年金保険 被保険者報酬月額算定基礎届」
- ②「健康保険・厚生年金保険 被保険者標準報酬決定通知書」
- ③「健康保険・厚生年金保険 標準報酬月額及び標準賞与額等の通知書(被保険者用)」

※提出いただいた書類は「就労実態確認」以外の目的に使用することはありません。また、取り扱いには細心の注意を払い、個人情報にも万全を期していきます。

国保ガイド(p.39)に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

アイルみずほ台内科クリニック(富士見市みずほ台1-3-14 TEL:049-252-8855)
誤)人間ドック+脳ドック69,300円 → 正)人間ドック+肺ドック69,300円

ホームページで保険料の試算ができます
埼玉土建国保組合ホームページには「保険料シミュレーション」機能があります。パソコン・スマートフォンで計算できます。
[埼玉土建HPアドレス(https://www.sai-doken-kokuho.jp/)]

第28期 理事・監事・議員

28期の役員体制と新議員が決まりました。

理事長: 武山 辰雄(岩槻蓮田) / **副理事長:** 飯塚 功(八潮)、木村 宣明(入間)、栗木 誠(越谷)、島野 義人(中部)、竹嶋 順二(入間) / **専務理事:** 段 和志(草加) / **常務理事:** 加藤 隆博(川越) / **法令遵守担当理事:** 箱田 友紀(飯能日高) / **理事:** 芦田 淳・石川 浩二(さいたま南)、伊藤修(ふじみ野)、今井 智子(深谷寄居)、岩間 靖友(飯能日高)、上田 博美(吉川松伏)、大越 義浩(川越)、小峰 大介(三郷)、笠間 孝之(春日部)、菊田 洋一(所沢)、鯉淵 太(川越)、児玉 晋(上尾伊奈)、齋藤 顕(坂戸)、佐藤 崇(越谷)、柴 誠(上尾伊奈)、杉本 憲昭(坂戸)、鈴木 大介(川口)、田村 正仁(本庄)、根岸 克弘・野澤 角栄(川越)、平賀 直・福重 晴義(中部)、古澤 駿(川口)、宮沢 恵一郎(草加) / **監事:** 男女嶋 聡(川口)、戸田 武治(宮代)、星野 伸一(上尾伊奈) / **議長:** 森泉 慎二(川口) / **副議長:** 小林 康裕(さいたま南) / **議員:** 青木 文紀・新國 孝久(草加)、伊東 正明・小川 和彦(さいたま北越)、水野 貴幸(さいたま南)、山下 清光(川口)、栗田 伴春・渡利 成人(朝志和)、河又 誠・西川 久治(新座)、深井 明・女ヶ沢勇司(川越)、千葉 昌利(入間)、西村 勝彦・藤田 安仁(所沢)、澁谷 勝男・須田 武士(越谷)、都築 靖夫(東松山)、湯澤 伸幸・若井 政之(ふじみ野)、佐向 勇(中部)、風間 秀雄・片山 千城(蕨戸田)、東 克男・若出 栄(春日部)、田口 豊作(深谷寄居)、佐々木 折夫(坂戸)、岡村 肇・佐々木 龍義(上尾伊奈)、須田 努(本庄)、田辺 安幸・仲又 公範(三郷)、坂本 悟郎(行田羽生)、山崎一(宮代)、堀田 剛士(狭山)、大和田 誠次・吉岡 勝(岩槻蓮田)、駒形 日登志(久喜幸手)、齋藤 勉(熊谷)、駒井 信太郎・鈴木 猛(八潮)、山田 恵一(比企西部)、山中 廣市(加須)、臼井 亨(飯能日高)、椎名 芳守・田中 啓三(吉川松伏)、田島 英明(秩父)

財政力(所得)調査にご協力ください

厚生労働省から「国保組合に対する国庫補助算定のための所得調査の実施」が通知され、埼玉土建国保組合では対象となった組合員3,333人、家族を含めると6,998人(家族3,665人)の所得を調査することになりました。

これは国保組合に対する補助水準を決めるために行われるたいへん重要な調査です。対象者は厚生労働省が指定した「無作為抽出方式」で決定され、意図的な抽出は一切ありません。また今回取得する所得情報は国保業務以外に使用されることはありません。

そこで今回の調査は情報連携(国保組合と行政機関との間で専用のネットワークシステムを用いて情報をやり取りする方法)を活用し、対象となったみなさんの所得情報を取得します。調査対象に該当したことへの個別のお知らせはしませんのであらかじめご了承ください。しかし所得未申告等の理由で所得情報を取得できない方も予想されます。その際には別途「所得申告のお願い」を行うことがあります。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

調査内容 2022年度の市町村民税(2021年所得)にかかる課税標準額

調査期間 2022年7月下旬から2022年9月上旬

掲示板

医療費が高額になる場合
「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を申請してください。
「限度額適用認定証」を医療機関等の窓口で提示すると、窓口での支払いが高額療養費の自己負担限度額までとなります。

保険証・資格情報等が、オンラインで確認できます。
オンライン資格確認等システムを導入している医療機関等では、受診者の保険証またはマイナンバーカードにより、資格情報をオンラインで確認できます。これにより、高額療養費の自己負担限度額が確認できるため、限度額適用認定証の提示がなくても窓口での支払いが高額療養費の自己負担限度額までとなります。

※システムを導入していない医療機関や薬局、接骨院等は対象外です。

お問い合わせは 給付課 048-839-0071

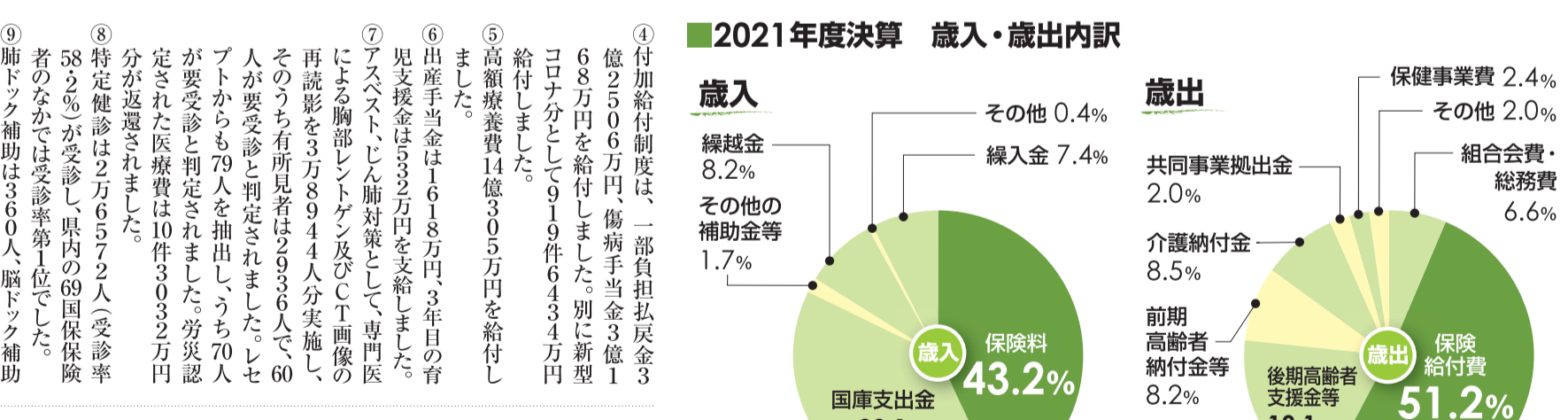
7月24日(日)、第106回組合会がコロンホール浦和コロンで開催されました。新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、対面での開催となりました。当日は、5人の議員から8つの質問要旨が出されました。出された質問要旨についてはこれから開催が予定されている、国保財政検討委員会などで議論していく予定です。

2021年度決算を承認

1 組合会の経過
理事長挨拶の後、議案討議に入り、提案されました。議案が全会一致で承認されました。

2 事業運営の概要
2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、事業運営となりました。一人当たり医療費は2020年度にはかつてないほど減少しましたが、2021年度は新型コロナウイルス感染症増加の影響を受け予算比108.6%となりました。指定宿泊施設利用補助は前年度比114.6%、デイズニ1利用補助は前年度比152.5%と増加していますが、コロナ前と比較すると半分以下という状況です。特定健診は、動の結果、受診率58.2%と前年度比で2.8ポイント増加しました。

2 事業運営の概要
2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、事業運営となりました。一人当たり医療費は2020年度にはかつてないほど減少しましたが、2021年度は新型コロナウイルス感染症増加の影響を受け予算比108.6%となりました。指定宿泊施設利用補助は前年度比114.6%、デイズニ1利用補助は前年度比152.5%と増加していますが、コロナ前と比較すると半分以下という状況です。特定健診は、動の結果、受診率58.2%と前年度比で2.8ポイント増加しました。



項目	金額	項目	金額
①保険料	141億9915万円	①保険給付費(医療費・給付金)	159億7121万円
②国庫支出金	128億7775万円	②後期高齢者支援金等	59億7245万円
③その他の補助金等	5億6051万円	③前期高齢者納付金等	25億5145万円
④繰越金	27億333万円	④介護納付金	26億5590万円
⑤その他の歳入	1億1863万円	⑤その他の歳出	40億4074万円
⑥繰入金	24億3425万円		

は577人が利用しました。前立腺がん検診補助は187人に支給しました。

⑩「埼玉県コトロン健康マイレージ」には92人が参加しました。

3 決算の概要
2022年3月末の組合員数を前年度と比較すると433人減少していますが、年間平均組合員数が減少し、歳入では保険料が当初予算より10万円増加しました。歳出は、新型コロナウイルス感染症増加の影響により保険給付費が予算比2億7422万円増えましたが、保健事業費1億4002万円減、総務費1億5189万円減となり、予算比6億5000万円使わなかったことから、単年度で合計6億8144万円の歳出減となりました。その結果、当初36億4758万円を見込んでいた単年度赤字は、23億9308万円に留まりました。